

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 山内
日 時	平成28年3月11日(金曜日)	開 議 閉 議	午前10時00分 午後 1時15分
出席委員	石野 山本 三上 奥野 田中 小松 木曾 (堤委員 欠席)		
執行機関 出席者	桂政策推進室長、竹村政策推進課長、垣見政策推進課副課長、川内政策推進課主幹 岸企画管理部長、片山人事課長、田中夢ビジョン推進課長、森岡人事課副課長、 土岐夢ビジョン推進課副課長、 俣野生涯学習部長、吉田市民協働課長、福田市民協働課副課長、 門総務部長、木村税・財政担当部長、石田総務課長、栗林自治防災課長、森自治防災課主幹、 田中安全安心まちづくり課長、吉田税務課長、井上総務課副課長、森川自治防災課副課長、 藤木税務課副課長、湯浅自治防災課主幹、 木曾教育部長、山本教育総務課長、河原社会教育課長、林教育総務課副課長、 伊豆田社会教育課副課長、土井文化資料館主幹		
事務局	藤村事務局長、山内事務局次長		
傍聴	可	市民 0名 報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

2 事務局日程説明

10:05

3 議案審査

10:05～

【政策推進室】

- (1) 第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分
(2) 第65号議案 平成27年度亀岡市土地取得事業特別会計補正予算(第1号)

(政策推進室 入室)

政策推進室長 あいさつ
政策推進課長 説明

質疑

<木曾委員>

特別会計の方で、買戻しの状況を説明願う。

<政策推進課長>

平成26年8月の臨時会で約12億3700万円、平成26年12月議会で7500万円、平成27年6月議会で3100万円、合計13億4300万円の購入額となっている。

このうち、平成26年9月25日に9億3770万円の市債を借り入れ、平成27年度末に1億1700万円の元金償還を行う予定である。

もう一件は、平成27年5月に6900万円を借り入れ、償還は平成28年9月から始まる予定である。

元金としては、概算で7億円が残る見込みである。

<木曾委員>

一覧表にまとめて、資料として出してもらえればありがたい。

<石野委員長>

資料の提出を求めることでよいか。

全員了

<田中委員>

補正予算とは直接関係はないが、新聞のお悔やみ欄に載っていた毛利さんという方は、地権者の一人か。

<政策推進課長>

そのとおりである。

<田中委員>

契約の関係で進展はないのか。

<政策推進室>

まだ進展はない。

10 : 18

(質疑終了)

(政策推進室 退室)

10 : 19 ~

【企画管理部】

(1)第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

(企画管理部 入室)

企画管理部長

あいさつ

各課長

説明

質疑

<木曾委員>

地方創生加速化交付金の中で、千歳町自治会に七福神の観光の部分で50万円出されるということだが、具体的な取り組み内容は。

<夢ビジョン推進課長>

七福神を市の観光施設と位置付け、11月に、七福神を中心としたイベントを自治会で主催していただくことに対して、補助を行うものである。

<木曾委員>

京都府が言っている「森の京都」の取り組み内容が、わかりにくいがどうか。

<企画管理部長>

「森の京都」という性質で言うならば、本来は森林の保全・保護という形になると思うが、亀岡市としては、観光を切り口として、それを有効活用していこうとしているところである。

10 : 40

(質疑終了)

(企画管理部 退室)

10 : 41 ~

【生涯学習部】

(1)第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

(生涯学習部 入室)

生涯学習部長 あいさつ
市民協働課長 説明

質疑

なし

10:50

(生涯学習部 退室)

10:51~

【総務部】

(1)第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

(総務部 入室)

総務部長 あいさつ
各課長 説明

質疑

<木曾委員>

情報化推進事業で、篠町山本区の受信施設デジタル化の完成時期は。

<総務課長>

完成時期は聞いていないが、NHKと地元の間で工事が遅れたものである。

<田中委員>

国勢調査経費を減額補正されているが、調査不能や回収ができなかった事例はあったのか。あった場合は、その後の対応はどうされたのか。

<総務課長>

100%回収できた訳ではない。

調査を拒否される世帯もある。

<田中委員>

そのような世帯の数字は、最終的にはどのように反映されるのか。

<総務課長>

すべての調査内容はわからないが、人数等については職権で調べることになる。

<木曾委員>

退職手当債が減額となったが、そもそも自治体がこのような市債を発行するのは禁じ手であると聞いている。

このような市債を発行するまでに、民間のように退職金を積み立てておくべきと考えるが、他の自治体でも、本市と同様に積み立てはされていないのか。

<税・財政担当部長>

ほとんどの自治体が、本市と同様に退職金の積み立てがされていない状況である。

中には、退職手当組合を組織し、そちらに退職手当分を拠出している所もあるが、基金で管理するのが基本である。

本市の場合は、団塊の世代を少し過ぎた今が職員の退職のピークとなっており、苦しい時期を迎えているが、もう少しすると平準化するのではないかと考えている。

<木曾委員>

今後も扶助費が増えて財政の硬直化が危惧される状況であるが、若い職員が退職金のことを心配することなく、安心して勤務していけるようにしないと活力が削がれることになる。

住民サービスを貫徹できる職員体制を作るためにも、退職金を積み立てておくことが必要であると考えているが、前向きに検討してもらいたい。

<税・財政担当部長>

このような経済情勢になるのは見込めなかったことから、今のような財政状況になっているが、団塊の世代の退職に備えた、国の制度としての退職手当債については、平成18年度から10年間の措置として設けられたが、これが更に10年間延長されることとなっている。国の方も大変厳しい状況となっている。

基金に積み立てられればよいが、その原資が捻出できない状況である。

今後、積み立てられる状況になれば、基金に積み立てていきたいと考えている。

<木曾委員>

財政状況が厳しい中で、人件費のカットに入っていくことになれば、職員のモチベーションが下がることも懸念される。

今後、長期的な視点で対応し、組織をしっかりと作っていただきたい。

<総務課長>

先ほど質問いただいた、山本の受信施設の完成予定日は、7月29日である。

(質疑終了)

(1)第68号議案～第75号議案

平成27年度亀岡市亀岡財産区特別会計補正予算(第1号)他7財産区特別会計補正予算

自治防災課長 説明

質疑

なし

11:45

(総務部 退室)

11:46～

【教育部】

(1)第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

(教育部 入室)

教育部長 あいさつ

各課長 説明

質疑

なし

11:55

(教育部 退室)

11:56~

【議会事務局】

(1)第59号議案 平成27年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)所管分

議会事務局長 あいさつ
議会事務局次長 説明

質疑

なし

12:00

(休憩)

12:00~13:00

4 討論~採決

(委員間討議なし)

討論

なし

採決

<石野委員長>

賛成者は挙手願う。

第59号議案(一般会計補正予算)	挙手全員	可決
第65号議案(土地取得事業特別会計補正予算)	挙手全員	可決
第68号議案から第75号議案 (亀岡財産区他7財産区特別会計補正予算)	挙手全員	可決

指摘要望事項

なし

5 その他

(1)他都市先進地行政視察等について

(他都市先進地行政視察について協議)

協議結果

日程:5月9日の週で

視 察 先：長岡市、糸魚川市、上越市等、新潟県を中心に
視察項目：防災、コミュニティ・スクール事業、新教育委員愛制度への移行など
(並河成資関係施設も含めて)

(2)次回の日程について

<石野委員長>

今回は、3月14日(月)午前10時から、委員長報告の確認を願う。

その後、午後1時15分から、付託議案の審査を願う。

(3)その他

<石野委員長>

ここで、本日、東日本大震災から5年目を迎え、ただ今から黙祷を捧げたい。

(全員起立、黙祷)

<石野委員長>

他になければ、これで総務文教常任委員会を閉議する。

13:15 閉議